

(様式3)

事業所名 グループホーム のた

作成日: 平成 28年 1月 12日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 25	介護計画作成者の介護計画の作成に伴い、アセスメント⇒プラン⇒モニタリングの流れが理解されいない。また、担当者会議録の理解がなく、入居者様の意向の確認の記録もできていない。	ケアマネジメントの基本を再確認を行い、アセスメントからプラン、モニタリングの一連の流れの仕組みを理解し、実行していく。	介護計画の作成に対して、有知識者より指導していただき、介護計画の仕組みを理解していくように取り組む。	6ヶ月
2	24	ご利用者のアセスメントが定期的できていないため、ご利用者の状況が理解されていない。そのためにも、入居者様の生活歴や、なじみの暮らしを職員の共通の理解ができない。	定期的なアセスメントを実施し、入居者の状況や生活歴、なじみの暮らしを職員が共通把握をお行う。	介護計画責任者が先導に立ち、利用者個々の状況や生活歴、なじみの暮らしをアセスメントを通し浮き彫りにし、職員への共通把握に努める。	6ヶ月
3	11	職員会議が行われていない期間もありました。	職員の共通理解を深める様に定期的に職員会議を開催する。	毎日のミーティングや定期的な全体会議や役職会議を行い、管理者や役職者の意見や提案を職員に伝える場を持つ。	1ヶ月
4	43	排便チェック漏れがあるご利用者がいました。	ご利用者の排泄に対しての重要性を職員が理解を行い、排便チェックの意識を高める。	排泄の記入漏れがご利用者に対してどのようなデメリットがあるのかを管理者やリーダーが職員の指導を行い、意識を高めていく。	3ヶ月
5	45	入浴チェック表に記入ミスがあるご利用者がいました。	ご利用者の入浴のチェックが漏れていることに対し、どんなデメリットがあるのかを職員が理解を行い、意識を高めていく。	入浴のチェック漏れがご利用者にどのようなデメリットがあるのかを管理者、リーダーが中心になり職員に指導を行い、意識を高めていく。	3ヶ月